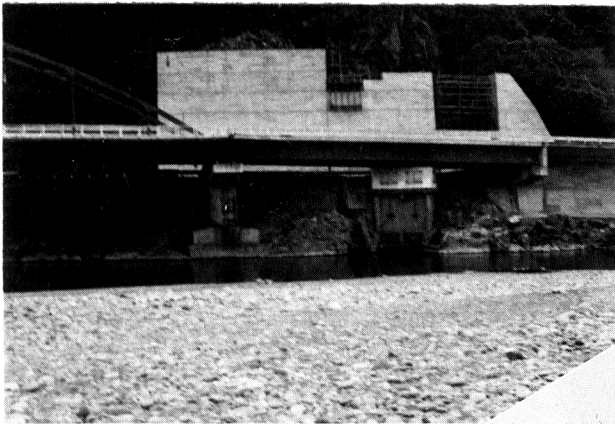
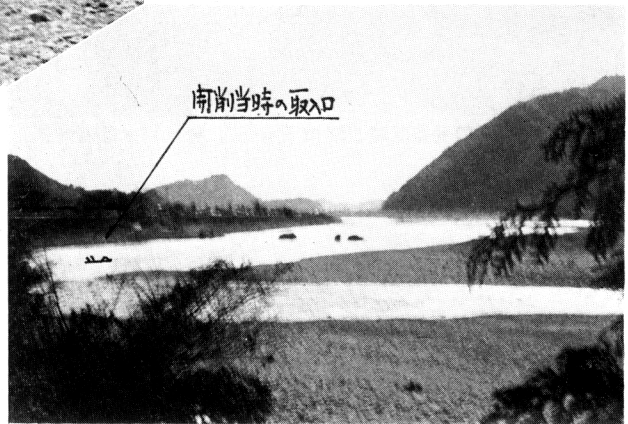


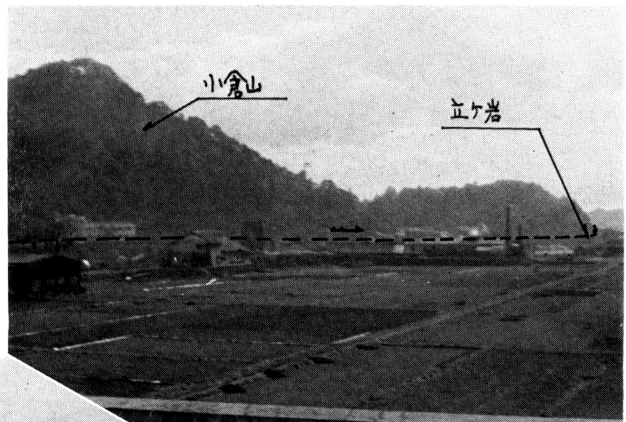


↑ 曾代用水取水門を望む、昭和9～12年に県営改良事業で新設された（水門の上部は国道156号線でノリ面工事中）

⇒ 喜田吉右衛門外二氏が、長良川河中の大岩（3カ所）を利用して左岸から取水した。現在も左岸に調整水門が設けられている（昭和9～12年に改良したもので往時の姿ではない）



⇒ 小倉山ろくの岩盤掘削、立ヶ岩の開削力所を望む



⇐ 上流部の受益区域（美濃市中有知）、曾代用水は山沿いの高台部を通っている

曾代用水

（本文 pp.57～59 参照）

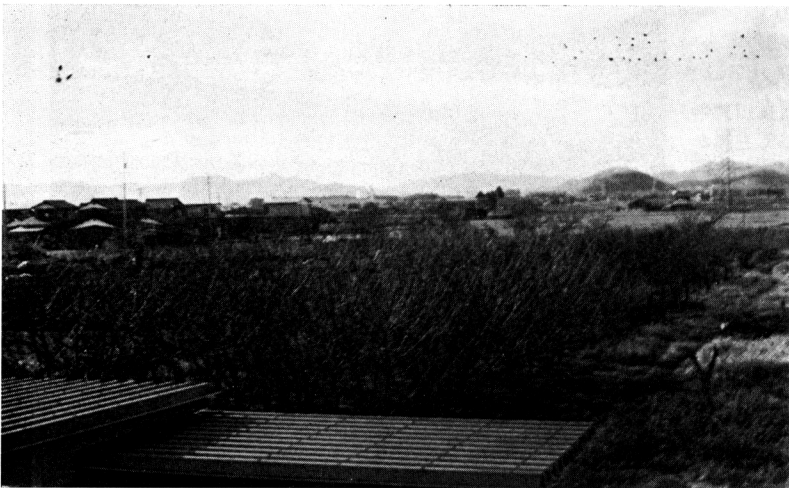
写真提供：桑原信男



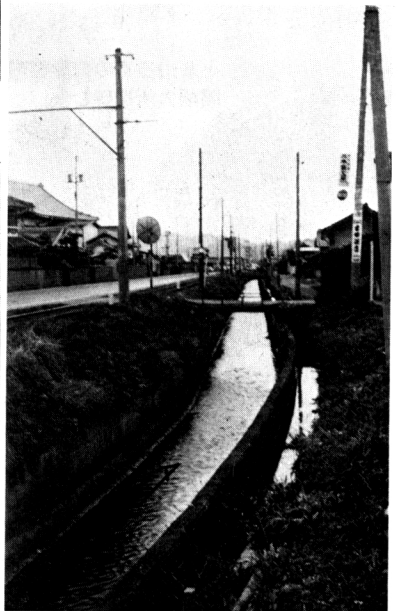
中流部の受益区域（関市下有知），曾代用水は右端部を通っている



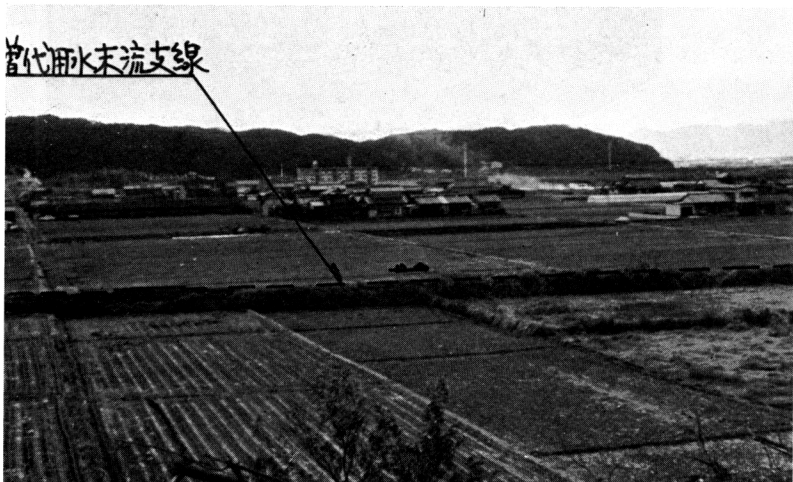
曾代用水のほとりにある井神社（関市下有知神光寺地内），喜田吉右衛門外二氏をまつてある



下流部の受益区域（関市神田），開削偉業者の一人，柴山伊兵衛氏はこの辺りに住んでいた



曾代用水の幹線下流部（関市下有知），開削当時の路線を改良したもの



下流部の受益区域（関市小屋名），曾代用水開削による原野から開田した区域